

産業建設常任委員会視察研修報告書

視察地：関東・東海地方

視察先：東京都農水省、静岡県富士宮市、長泉町、伊豆市

実施日：令和4年7月13日（水）～7月15日（金）

旅 費：655,380円（公費）

【視察目的】

1. 農林水産省、林野庁
 - ・みどりの食料システム戦略について
 - ・木質バイオマスの地産地消の取組について
2. 静岡県富士山朝霧バイオマスプラント
 - ・畜産バイオマスについて
3. 静岡県長泉町鮎壺の滝
 - ・ジオサイト「鮎壺の滝」の視察見学
4. 静岡県伊豆半島ジオミュージアム「ジオリア」
 - ・伊豆半島ジオミュージアムについて

【視察結果】

1. 農林水産省環境バイオマス政策課職員から農林水産省が進めているみどりの食料システム戦略について、林野庁木材利用課職員から木質バイオマスの地産地消の取組について説明を受けた。

農林水産省では、バイオマス地産地消対策について、事業化（調査・設計）にも1/2の補助があることや、採択要件として災害時のエネルギーの供給などの防災要素を取り入れること、廃棄物処理の許可や土地開発等、多岐に渡る法規制の許可などに対応しなければならないことをレクチャーいただいた。

また、当交付金は、県を通してからの申請になるとのことであった。

木質バイオマスに関しては、継続して発電・発熱するためには、材料の安定的な確保が重要であるとのことであった。
2. 合同会社朝霧Biomass職員から畜産バイオマス発電について説明を受け、現地視察を行った。

朝霧バイオマスプラントでは、糞尿処理料は、スラリーも固形も2,000円/tで、消化液（液肥）については、糞尿の搬入がある場合は100円/t、搬入が無い場合は200円/tで販売しているとのことであった。

当施設は、環境省がモデル事業として建設し、実証実験を行っていた施設であり、R2年12月5日に土谷特殊農機具製作所が環境省から落札し合同会社富士山朝霧Biomassを設立し、FITの契約が取れば、今年9月から売電を開始するとのことであった。今後、熱エネルギーを利用したハウス園芸や消化液をさらに固液分離したスーパー液肥を販売し、収益を上げていきたいとのこと

であった。

3. 伊豆半島ジオパークのジオサイト「鮎壺の滝」では、ながいずみ観光交流協会職員及びジオガイドから伊豆半島ジオパークのジオサイトの一つである鮎壺の滝の成り立ちと見どころについて現地で説明を受けた。

鮎壺の滝は、富士溶岩流が土に当たって止まり、固い溶岩部が残って、止まった土が浸食され、高さ9m・幅65m余りの滝ができたとの説明であった。

また、当ジオサイトでは、QRコードが張り付けられたジオサイトの紹介看板や写真撮影に適した場所に撮影スポットであることがわかる印を設置するなど、訪れる人にわかりやすい配慮が行われていた。

4. 伊豆半島ジオミュージアム「ジオリア」では、一般社団法人美しい伊豆創造センター職員から伊豆半島ジオパーク及びジオミュージアム「ジオリア」について説明を受けた。

ジオリアでは、伊豆の比較的新しい土地の成り立ちについてプロジェクションマッピングを用いてわかりやすく説明いただいた。また、川の流れを特殊な砂と水流（Emriver）によって長い年月をかけて変化していくところを説明いただいた。さらに、同時期に世界ジオパークに認定されたインドネシアの企画展示を行うなど、他地域のジオパークとの交流を深めるなどのアイデアをいただいた。

【視察効果及び西予市での応用】

1. バイオマス地産地消については、庁内に木質バイオマス・畜産バイオマスの研究チームを立ち上げ、事業化に向けた調査研究を進める必要性を感じた。
2. 朝霧バイオマスプラントは、乳牛総数5,000頭、耕作面積700haと西予市より少し規模は大きいものの、農家数は42戸でさらに減少傾向であると聞いた。糞尿処理の問題を解決し、増頭するためにはバイオマスプラントは有効な方法であると考え、今後の西予市畜産を残して行くためにも事業化に向けた調査研究を進める必要性を感じた。
3. 「鮎壺の滝」は、ジオサイトとして魅力ある場所であったが、残念なことに河川の中のゴミが目立っていた。西予市のジオサイトの清掃も同じことが言えるのではないかと。ジオサイトのトイレ掃除やサイト自体の清掃問題に取り組む必要があると思われる。
4. ジオミュージアムにおいては、ジオリアで用いられていたプロジェクションマッピングや水利模型（Emriver）について、当市でも導入に値するものであると考え、設置に向けた検討を願いたい。
また、ジオパーク間の展示物交換や交流会、物産展等はすぐにでも対応可能であり、早急に実行願いたい。

令和4年8月2日

産業建設常任委員会
委員長 井 関 陽 一

1. 衆議院議員会館（農林水産省、林野庁）にて（R04. 7. 13）
～みどりの食料システム戦略・木質バイオマスの地産地消の取組について研修～
【講師：環境バイオマス政策課、木材利用課】



2. 富士山朝霧バイオマスプラントにて（R04. 7. 14）
～畜産バイオマス発電について研修～
【講師：合同会社富士山朝霧 Biomass】

（写真左）糞尿受入

（写真右）液肥販売の看板



3. 伊豆半島ジオパーク ジオサイト「鮎壺の滝」にて (R04. 7. 14)

～ジオサイト「鮎壺の滝」について研修～

【案内：ながいずみ観光交流協会】

(写真左) ジオガイドの方と鮎壺の滝

(写真右) ジオサイトの紹介看板



4. 伊豆半島ジオミュージアム「ジオリア」にて (R04. 7. 15)

～ジオミュージアム「ジオリア」について研修～

【講師：一般社団法人美しい伊豆創造センター】

(写真左) プロジェクションマッピング

(写真右) 水利模型での説明

